



東京学芸大学

2020年6月12日

報道機関各位

国立大学法人東京学芸大学
附属図書館

オンライン時代の古典籍活用を目指して：東京学芸大学附属図書館デジタルアーカイブ
「学びと遊びの歴史」画像データのオープン化

東京学芸大学附属図書館では、デジタルアーカイブ「学びと遊びの歴史」で公開する画像データについて、自由にご利用いただけるよう運用を変更しました。当アーカイブでは「往来物」や「絵双六」など江戸・明治期の教育を特徴づける貴重な資料の画像を公開しています。今後はこれらの画像について、学校における教材作成や大学のオンライン授業など教育の場での活用や、商用利用など幅広い利用が期待されます。

1. 所蔵古典籍画像データの利用を簡便化

今回の運用変更に併せ、画像データをホームページから自由にダウンロードできるようにしました。所蔵館情報を明記すれば自身の著作物への転載、データを加工しての利用などを特段の申請なく行うことができます。

2. オープン化（自由利用）の意義

著作権保護期間が満了した古典籍を学術・商用などの目的を問わず画像を自由に転載、加工できることで、効率的な利用が可能になり活用事例が広がります。特に昨今のオンラインでの講義が主流となる中では、紙資料の代替物としてのデジタルアーカイブが果たす役割も増大しており、本学のアーカイブもその一助となることを目指しています。

3. 東京学芸大学附属図書館所蔵コレクションの特色

① 往来物(おうらいもの) 約 2,500 点

平安末期から明治前期まで広く使われた初級教科書。多くが往復の手紙文の形をとったことから「往来物」と呼ばれました。各種職業や生活に必要な知識が豊富な挿絵と共に織り込まれています。

② 絵双六(えすごろく) 約 200 点

江戸から昭和にかけて大衆に広く流布した遊具の一つ。内容は幅広く、旅をモチーフにした「道中双六」、人生ゲームのような「出世双六」などがあります。

③ おもちゃ絵 約 60 点

江戸後期から明治にかけて製作・出版された知育玩具。昔話を絵本風にしたもの、着せ替えなどがあり、遊びながら日常生活に必要な知識を習得できるようになっています。

4. 公開 URL

東京学芸大学附属図書館デジタルアーカイブ「学びと遊びの歴史」

<http://library.u-gakugei.ac.jp/digitalarchive/archivetop.html>

【問合せ先または担当者】

国立大学法人東京学芸大学総務部学術情報課

TEL : 042 (329) 7223

FAX : 042 (323) 5994

メールアドレス : tosyofuk@u-gakugei.ac.jp



「学びと遊びの歴史」トップページ



東京学芸大学

【参考資料】

当サイトで公開する資料の一部をご紹介します。

・往来物

「庭訓往来」(ていきんおうらい)

[下川邊拾水 書画 正徳 5(1715)年孟春元彫 文化 3 (1806) 年孟春再刻 菊屋七郎兵衛(京)板 25.8 cm×18.3 cm]

『庭訓往来』は南北朝時代に作られ、中世から明治初年にいたるまで最も普及した往来物の一つ。二十五通の手紙文により構成されている。本書はこれに小謡、証文の書き方、筆道の記事を加えて編集されている。絵は師匠の前で、袴を着けて正装した少年が大本を広げ、字突棒で一字一字さしながら素読している様子。



・絵双六

「豆満喜雙六」(まめまきすごろく)

[一鵬斎芳藤画 辻岡屋文助 板 53.0 cm×47.5 cm]

節分の豆まきの絵を中央に配して上がりとし、「鬼〇外(おにわそと)」で「おに」のつく言葉は外側の輪、「福〇内(ふくわうち)」で「ふく」のつく言葉を内側の輪に配した廻り双六。コマは「おにしめ」「鬼の念仏」「おには、「おたふく」「風がふく」「げんぶく」など。



・おもちゃ絵

「飴立武者揃」(かざりたてむしやぞろい)

[芳藤画 木版色刷 36.1 cm×24.7 cm]

武者揃を飴立【かざりたて】(組立)としたもの。飴立とは、紙細工で立体的な模型を製作できるようにしたおもちゃ絵で、単に組上げ絵とも言う。騎馬の武将と四人の武者が立ち並び、馬の首や足、鎧の手などを貼って、馬印、旗、武器などをそれぞれが持つようになっている。武者にはその名が記され、完成図が小さく描かれている。伊予守義経とそれに供奉する、武蔵坊弁慶、駿河次郎清重、亀井六郎、御厨喜三太、熊井大助らである。

